

MISSION 24時間以内にNASAに解決案示せ

ビジネスプラン 競う国際大会 代表に京都すばる高



「グローバル・エンタープライズ・チャレンジ」出場に向けて準備をする生徒たち(京都市伏見区・京都すばる高)

起業精神世界一に

提示された社会的課題に対し、ビジネスプランを出し合って競う青少年対象の国際大会「グローバル・エンタープライズ・チャレンジ」(十七、十八日・英国)に、京都すばる高(京都市伏見区)のチームが日本代表として出場する。米国防空宇宙局(NASA)が出す課題への解決案を二十四時間以内に英語で示す真剣勝負の戦い。生徒たちは「世界一になる」と意気込んでいる。

大会は十八歳以下の青年能力開発を支援している少年が起業家精神を養うアントレプレナーシップ(ことなどを狙いに、英国 開発センター(下京区)スコットランドの行政機関の主催で開かれた。「リアフリー商品の開発」に関が開いている。国内大会は今年二月、という課題に対し、京都

17、18日 英国で本番

「ジ」のビジネスプランを英語で作成、三分間で内容を説明する。創造性や市場性、表現能力が審査の基準になる。リーダーの山崎安敦君(二ひは「なるべく早く課題を仕上げ、英語のプレゼンテーションの準備に時間をかけられれば優勝できるはずだ」と強気だ。指導する柳生雄久教諭(三ひは「生徒たちは二年以上、企画立案を学んでいる。底力に期待したい」と話している。

すばる高の企画科三年生八人のチームは駅の券売機に着目。目的地への経路や運賃検索機能とともに、お年寄りが乗り換え駅を忘れないようルート図を印刷でき、また車いすの利用者も切符を買いやすい券売システムの企画書を作った。京都や大阪から参加した五チームのなかで最優秀賞に選ばれた。本大会には十カ国の十二チームが出場する。NASAの科学技術者がその場で与える課題に対し、丸一日かけて、二ベ